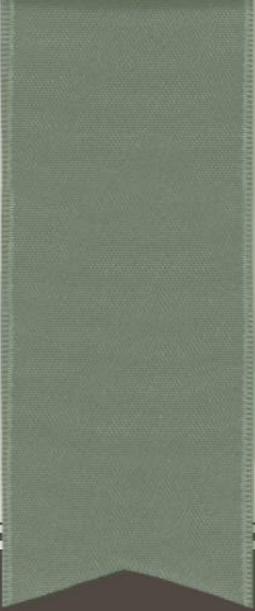


# 交差点編 (信号機あり)





---

---

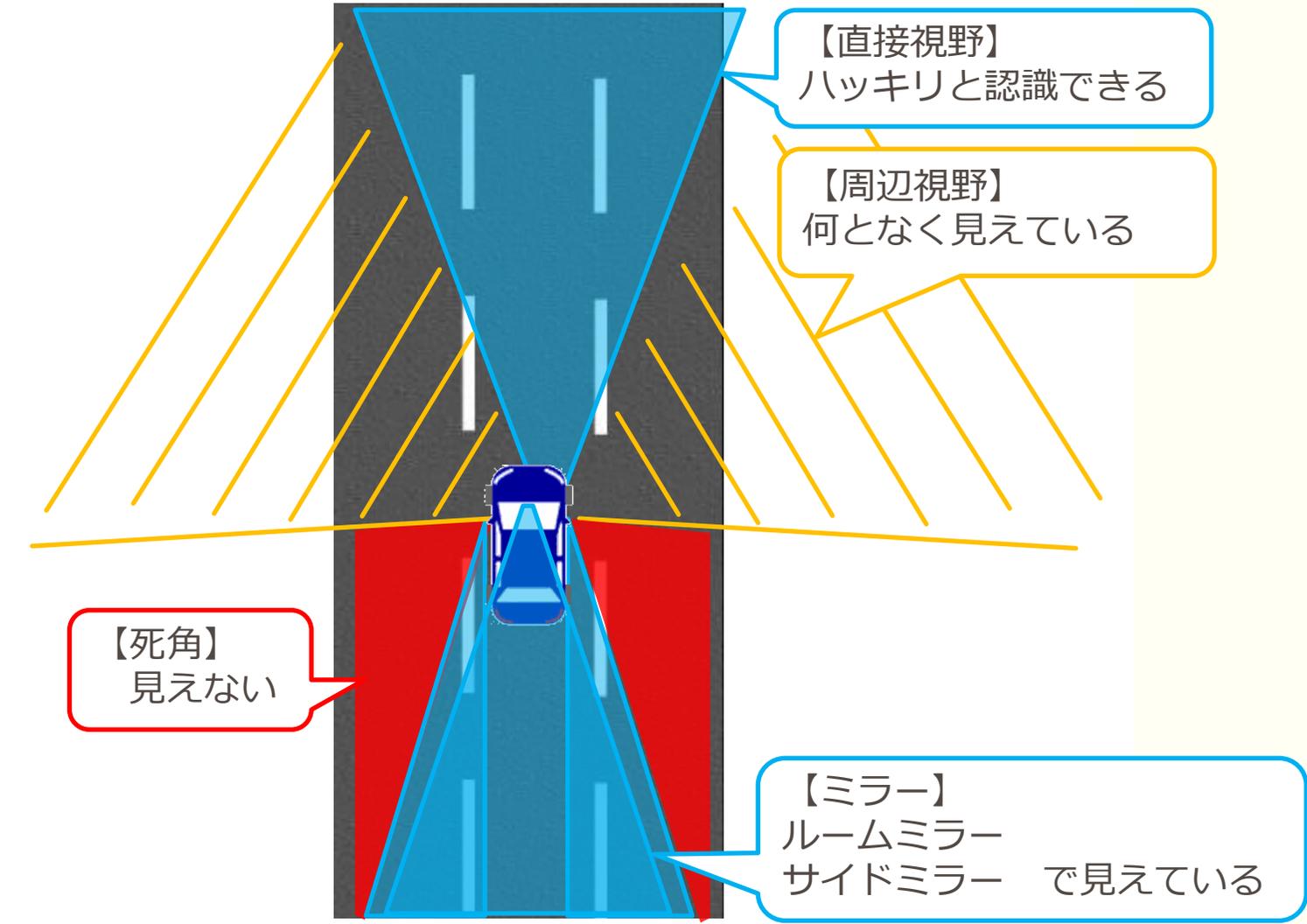
# 死角の確認とミラー距離感

---

---

# 死角を把握しよう

Basic  
knowledge



# 死角と確認方法

Basic  
knowledge



- ①ルームミラー
- ②サイドミラー
- ③目視

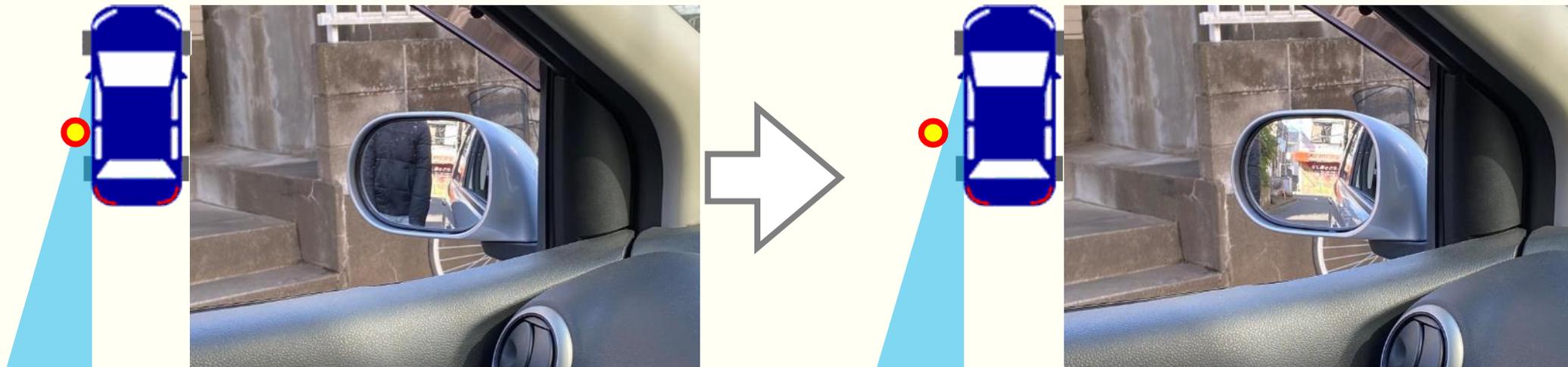
3つの確認を使い分けて  
死角をカバーしよう



「1箇所に集中」より  
「キョロキョロ」できた方が  
安定感が増しますね

# 実際のミラーの死角

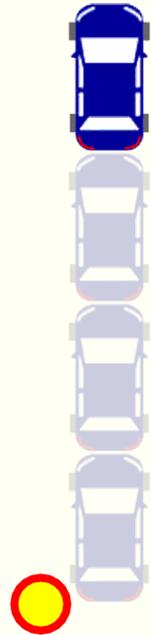
Basic  
knowledge

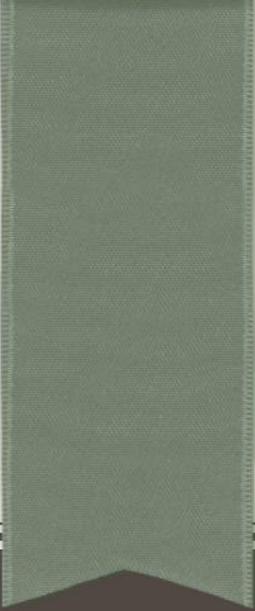


少し横にスライドするだけで見えなくなってしまう  
「実際の見え方」をインストラクターと一緒に確認してみましょう

# ミラー距離感を掴もう

Basic  
knowledge





---

---

# 合図のタイミング

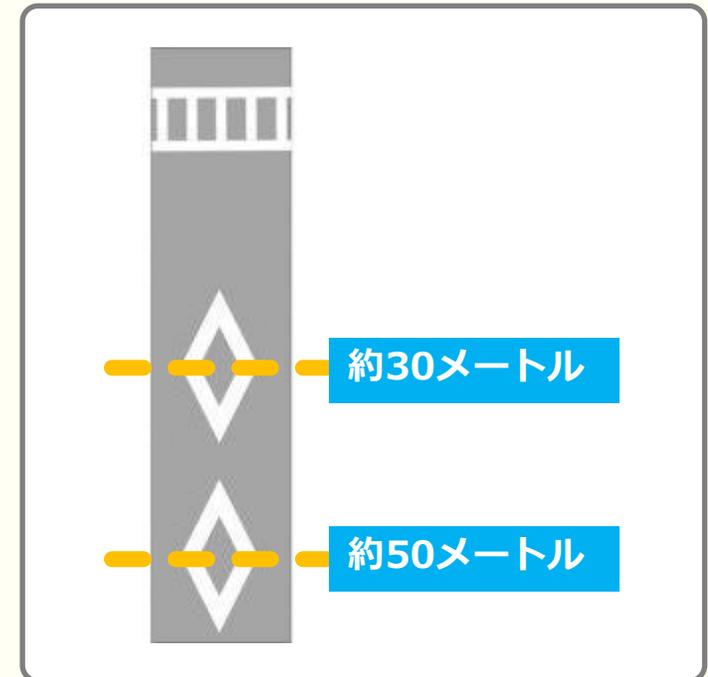
---

---

# 信号合図のタイミング

Basic  
knowledge

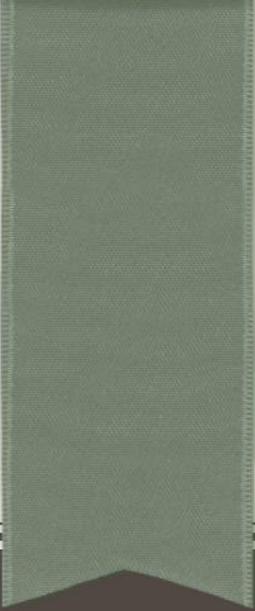
合図（ウィンカー）を出すタイミングは約30メートル手前で  
画像を目安に30メートルの距離感を掴みましょう



# 信号合図のタイミング

右折レーンの増設時は「分岐」付近でウィンカーが出ている状態がベストです。





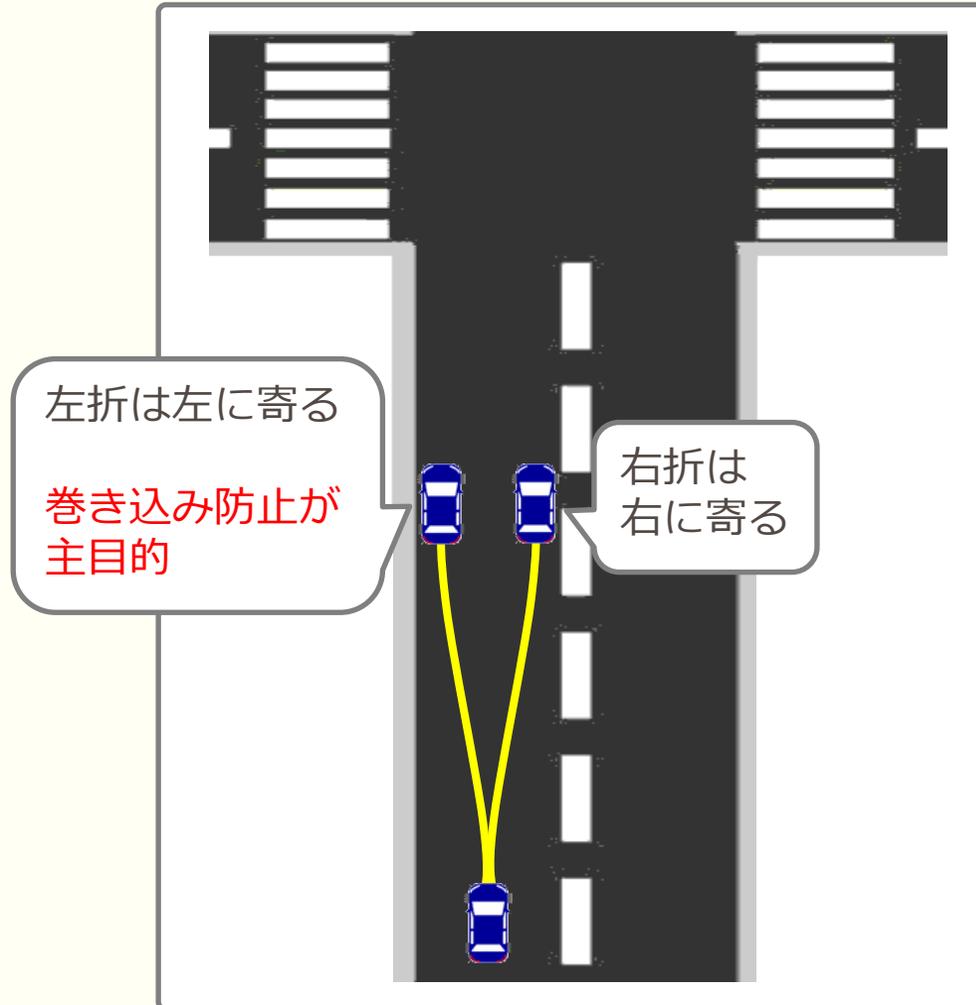
---

# 進路変更と確認方法

---

# 進路変更とは？

Basic  
knowledge



進路変更とは、同一車線内で  
『あらかじめ寄っておく』という行為になります  
曲がる時は原則、寄せてから曲がりましょう

寄せることが出来れば、後続車は抜いてくれるため、  
「後続車プレッシャー」が軽減されます

寄せた後、離れちゃダメだよ！

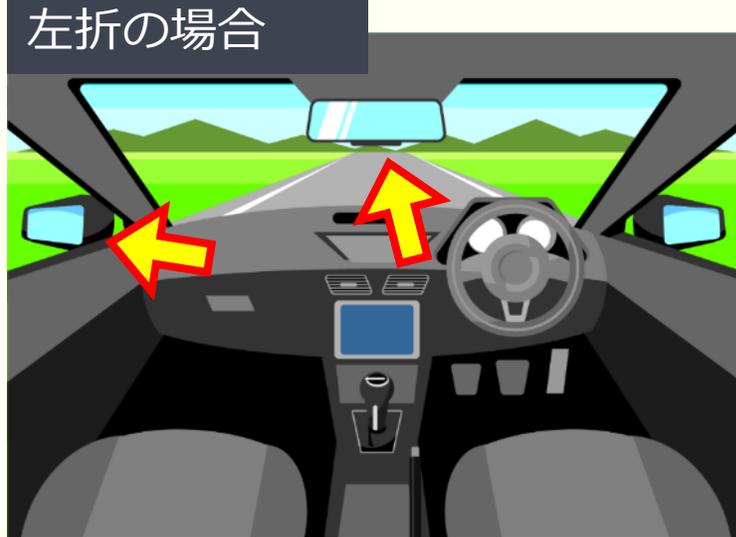


①寄せたあと  
②つかず離れずまっすぐ進む  
ですね



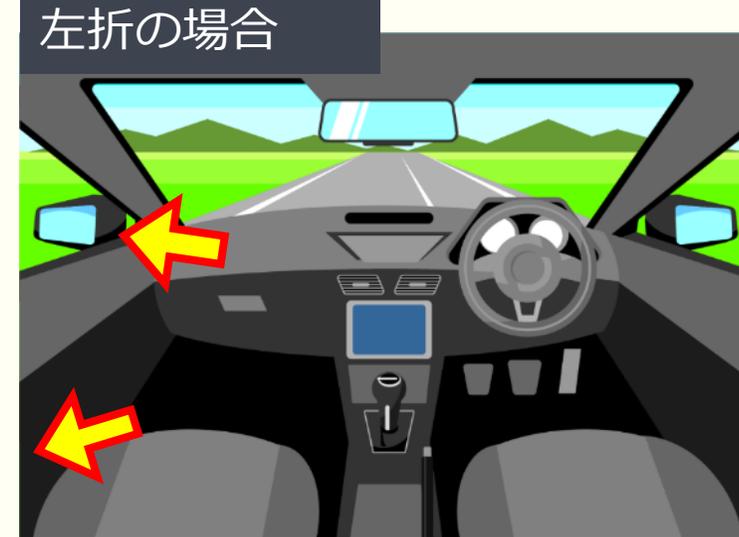
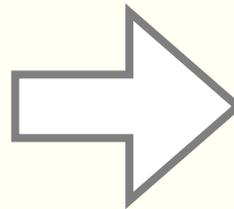
# 確認の基本手順

Basic  
knowledge



- ①ルームミラー&サイドミラーで  
後方の状況を把握する
- ②ウィンカーを出す

一呼吸おいて



- ③サイドミラー&目視で死角の確認  
左後方の安全を確定させる
- ④寄せる

## 【POINT】

「状況把握」が目的であり本質

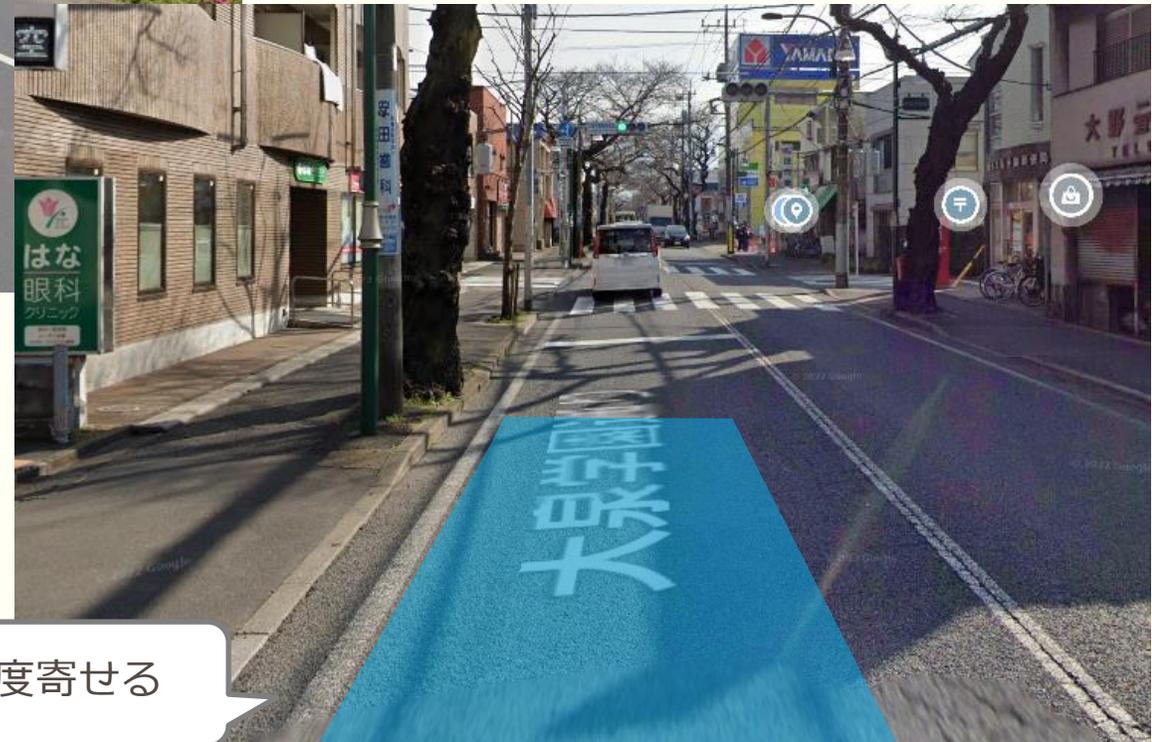
手順に拘らず「後方の状況を把握できているか？」に着眼しよう

# 寄せる幅の目安

Basic  
knowledge



排水の溝に入らない程度に寄せる



白線は踏まない程度寄せる

【POINT】  
人が通れない程度に寄せておく

# 狭い道路では無理に寄せない

Basic  
knowledge



## 【POINT】

狭い道路では無理に寄せなくても  
問題はありません



# 歩道は入らない

Basic  
knowledge

## 【路側帯】

歩道がなく白線が引いてあります  
線の中は歩行者が歩く場所です  
だから原則、線の中に入ってはいけません



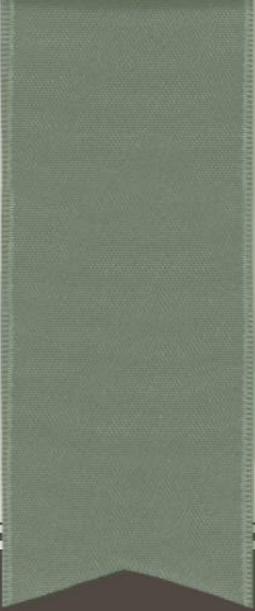
## 【車道外側線】

歩道があり白線もあります  
人が歩く場所が確保されているため、白線に  
大きな意味はなく入っても問題はありません



人が歩く場所（路側帯）には入らない  
ということだけ覚えておきましょう





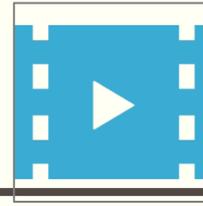
---

# 信号左折

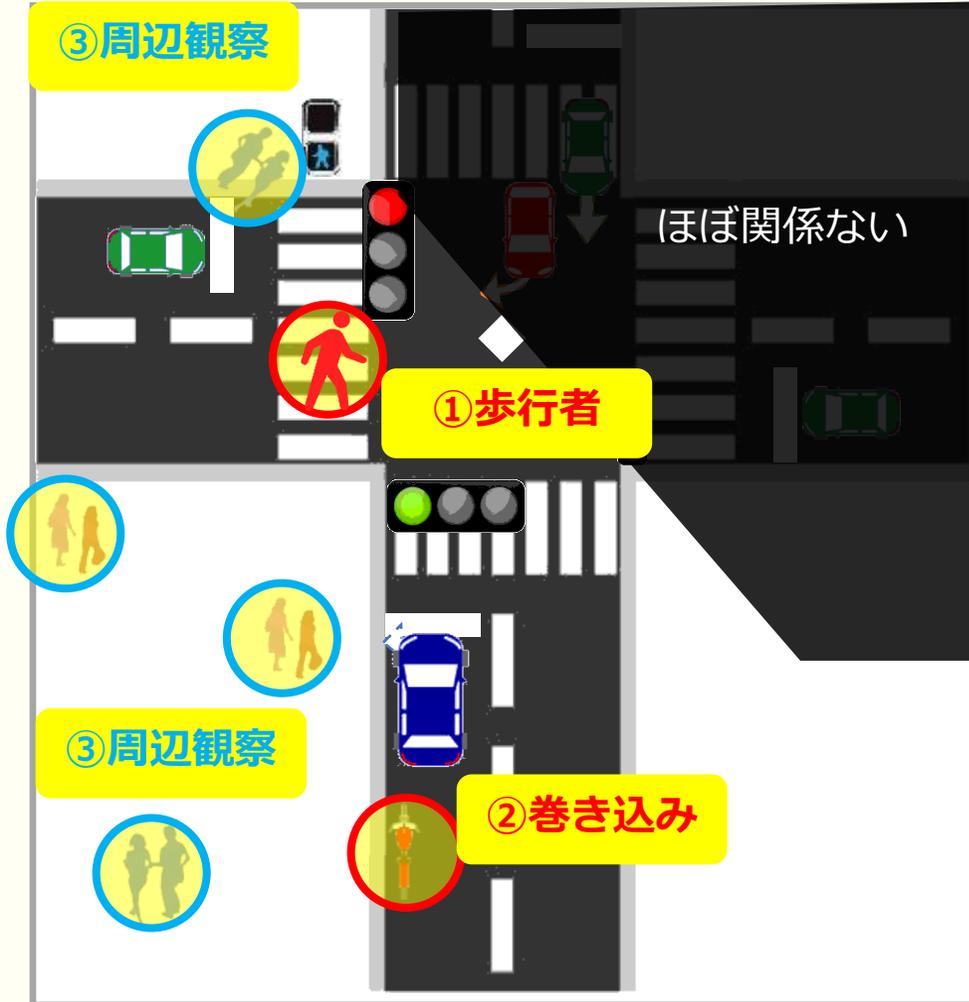
---



# 信号左折の基本行動（重要課題）



Basic training



トレーニング

【事前準備】  
進路変更を行い  
ある程度「後方の状況」が把握できている  
ある程度「左に寄っている」

【意識すること】

- ・スピードコントロール
- ・走行ライン

【最重要・技術】

- ・曲がりながら「左右の確認」ができること  
(曲がりながら首フリができること)

【POINT】  
左折は「曲がりながら周囲の状況が変化します」  
変化する状況に対応するためには  
曲がりながらの状況把握が重要になります

# 信号左折 接触のメカニズム

Basic knowledge



# 走行ラインと逆フリ

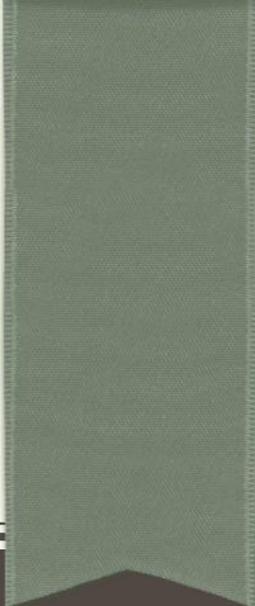
Basic  
knowledge



「後輪」が「縁石のR」に沿うイメージで  
曲がってみましょう



「無用な逆フリ」に注意しましょう  
ハンドルは「まっすぐ」から「曲げる」だけ



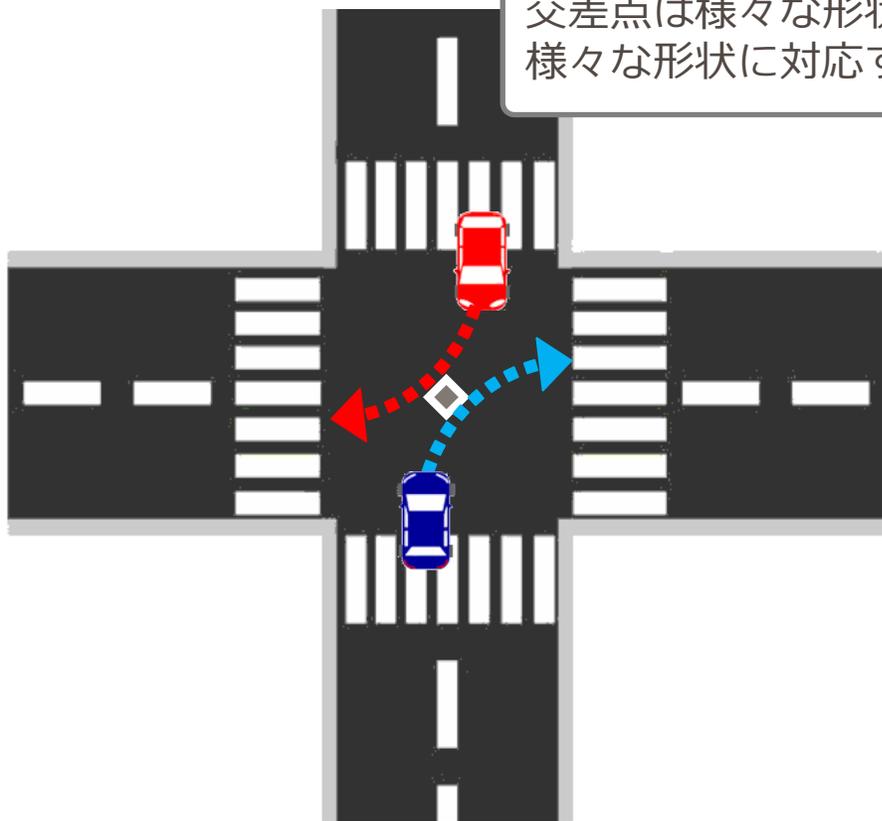
---

# 信号右折

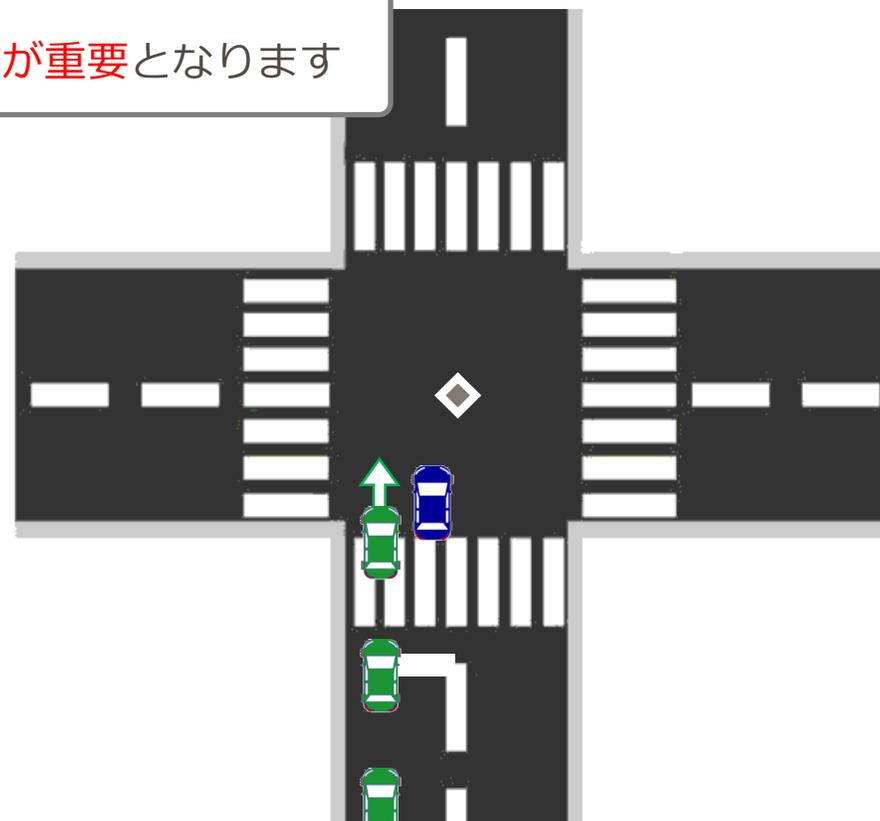
---

# 右折時の待機ポイント

交差点は様々な形状が存在します  
様々な形状に対応するには**考え方が重要**となります



考え方① 中央手前  
お互いの進路を確保し**前**に出過ぎない



考え方② 右寄り  
出来る範囲内で**後続車**の進路を確保する

# 右折専用レーン

Basic  
knowledge



右折専用レーンでは  
「対向車の圧力」や「対向車への配慮」から  
「無理して右寄り」にしなくても  
大きな問題はありません

線の真ん中でOK

ここまでしなくても良いですよ  
気持ち楽にいきましょう

# 「線への意識」を高めよう

Basic  
knowledge



「対向車の圧迫感」から左図の状態になりがちです

寄せるのがこわい😱



そんな時は、意識を対向車から「両方の線を踏まない」  
に切り替えましょう  
線を守れば対向車に当たることは絶対にありません

# 右折のガイドライン

Basic  
knowledge

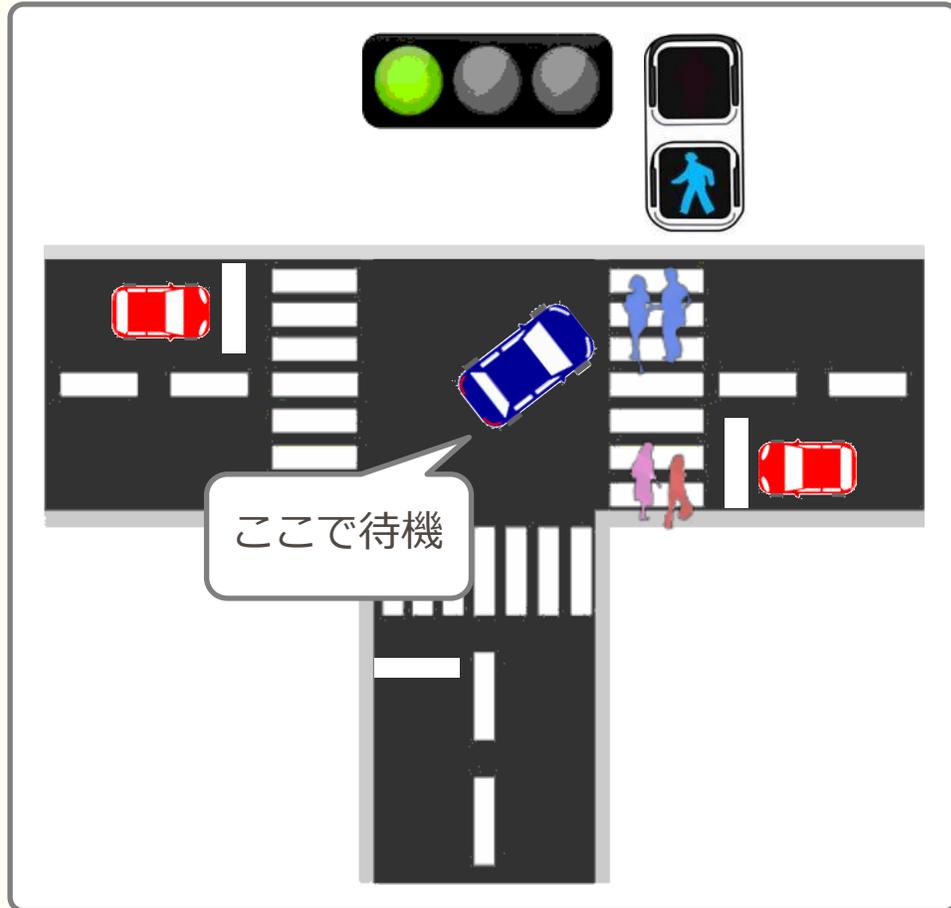


ガイドラインがある場合は  
ガイドラインに従いましょう



# T字路で待つ場所

Basic  
knowledge



T字路交差点では「横断歩道の手前」まで行ってから待機しても問題ありません

# 右折時の走行ライン

「右折待ち」をしている状態では  
大まかな走行ラインをイメージしておきましょう



この辺に持っていく  
という大まかなイメージ

# 右折時の走行ライン

Basic knowledge



進みながら車両を収めたい場所に向けてハンドルの調整をしていきます

「車両の右前」と「赤印」を意識すると収めたい場所をより捉えやすくなります



# 信号右折の見る場所

Basic  
knowledge



## 【見る場所】

- ① 対向車 (車両の影・オートバイ含む)
- ② 歩行者
- ③ 信号 (タイミングを図る)
- ④ 周辺観察 (危険予測)

「歩行者用の信号」は  
「行くタイミング」を  
教えてください！



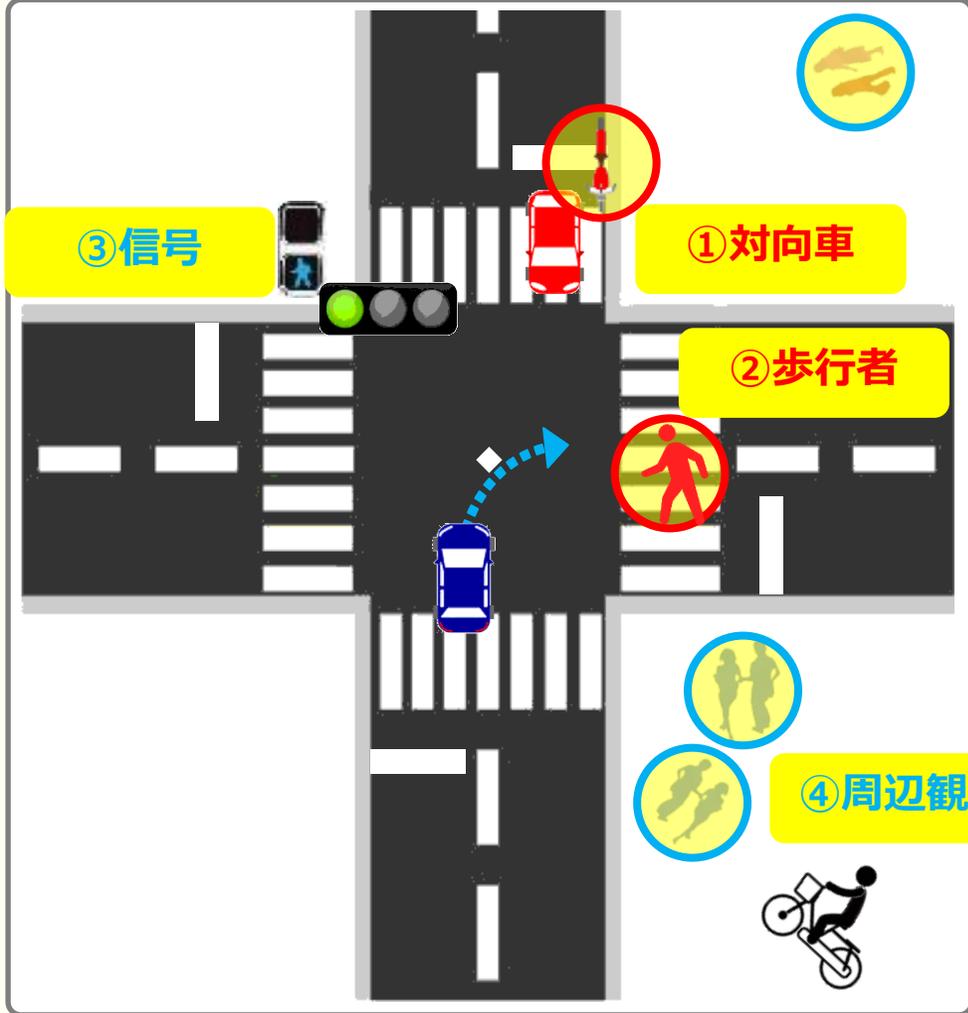
「右後ろ」から際どいタイミングで  
突っ込んでくる自転車がやばし



# 信号右折トレーニング



Basic training



## トレーニング

【事前準備】  
「待つ場所」を理解してポジショニングする

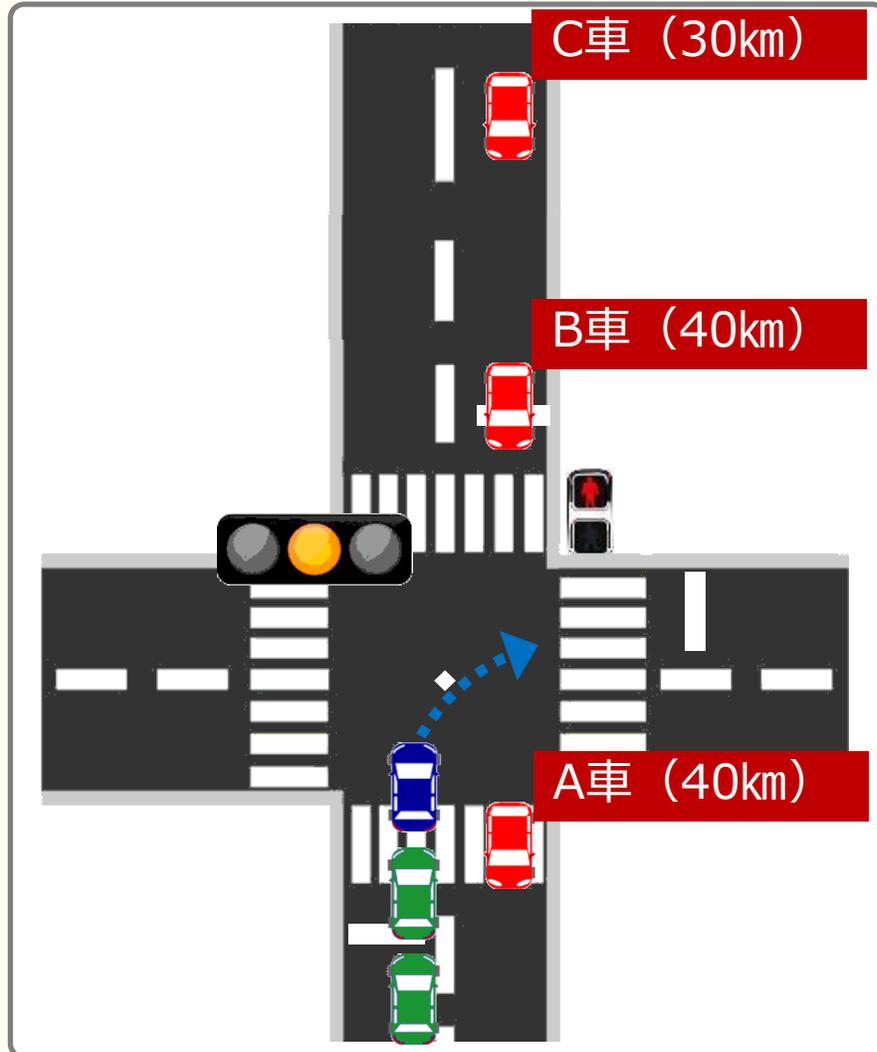
【意識すること】  
・スピードコントロール  
・走行ライン

【重要項目】  
①行くタイミングを理解できている  
②曲がりながら「左右の確認」ができる  
③信号を見落とさない

【POINT】  
怖いから素早く行く (=急発進) はNG  
確認しながら 一定速度で 落ち着いて

# 信号右折でよくあるタイミング

Basic  
knowledge



- ① 青い車が右折待ちをしている
- ② 対向車の流れが途切れない
- ③ 歩行者用の信号が赤になる
- ④ 信号が黄色になる

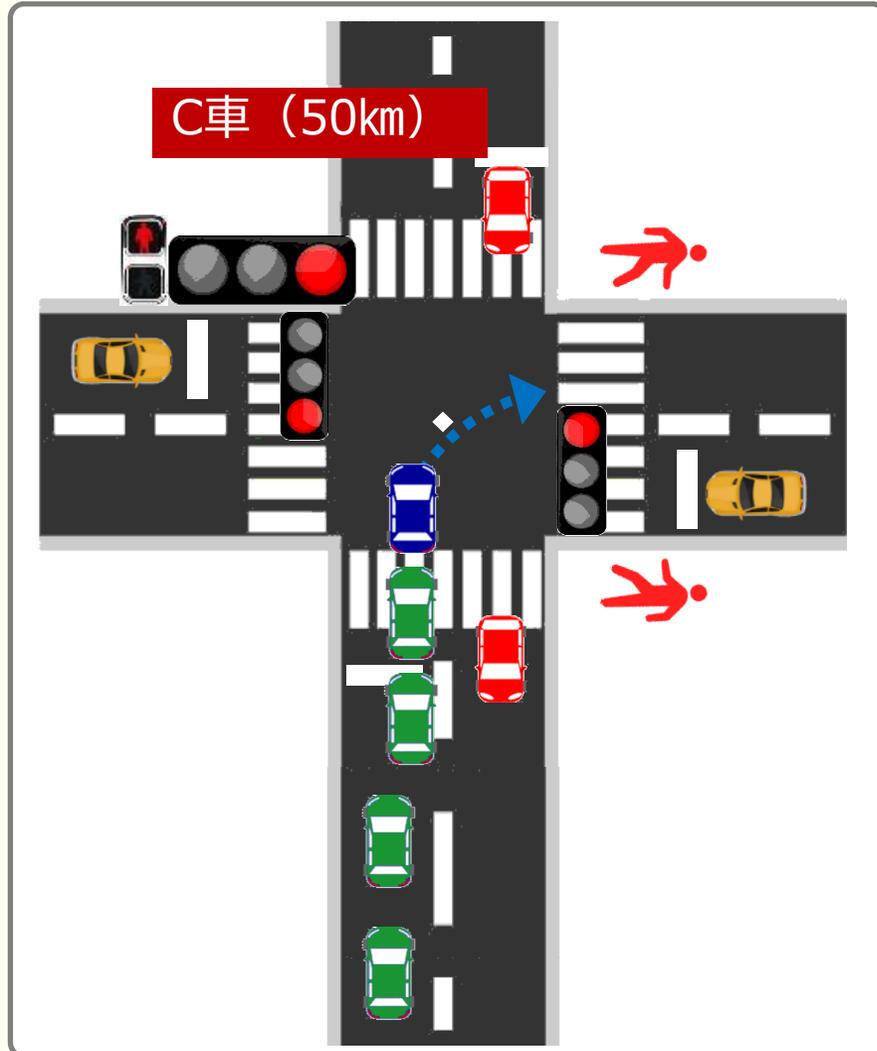
この瞬間

- ・ 青い車はどの様に考え
- ・ どの様に行動すべきでしょうか？

【答え】

- ・ B車は止まらず通過して、C車は止まると考える
- ・ C車の様子を伺いつつ車の切れ目（B車とC車の間）で通過する

# 信号右折でよくあるタイミング



似た様な状況で  
C車がスピードを上げて突っ込んできました  
図は信号が赤になった瞬間です  
約3秒後に「黄色の車」が「青信号」に変わります

この瞬間

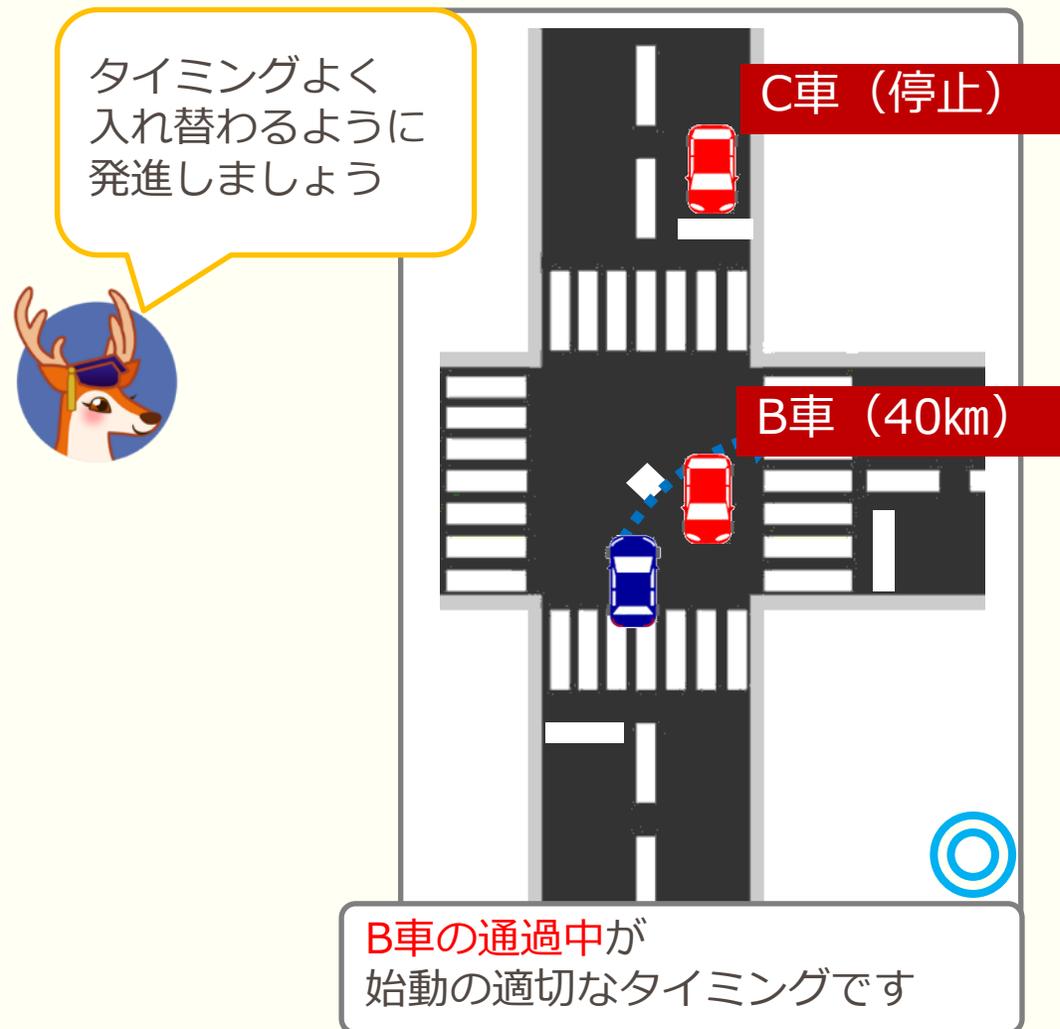
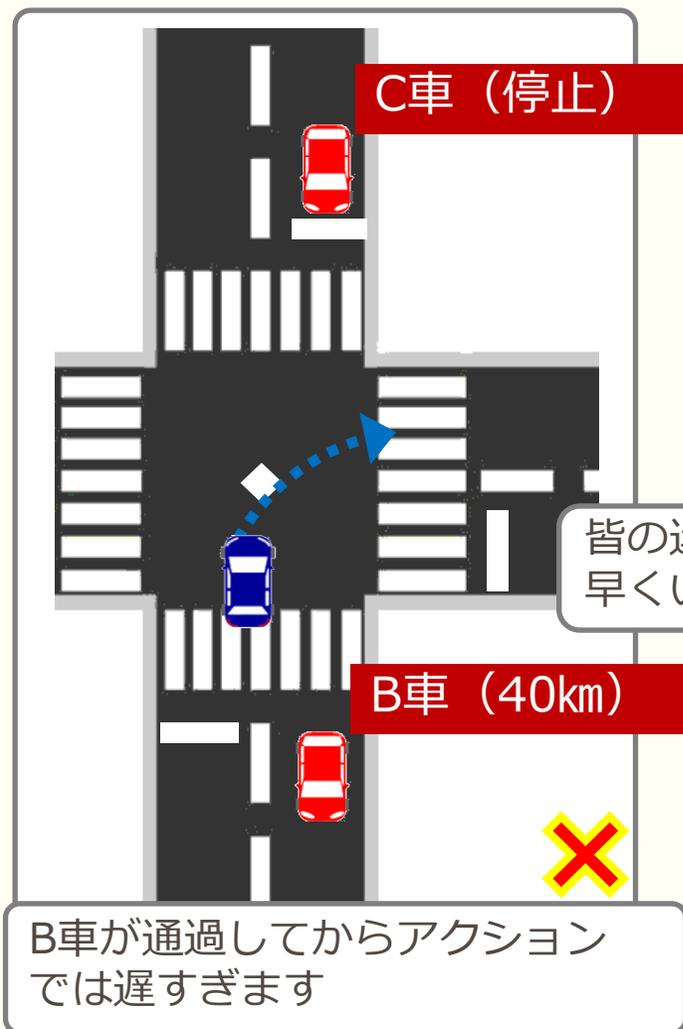
- ・ 青い車はどの様に考え
- ・ どの様に行動すべきでしょうか？

【答え】

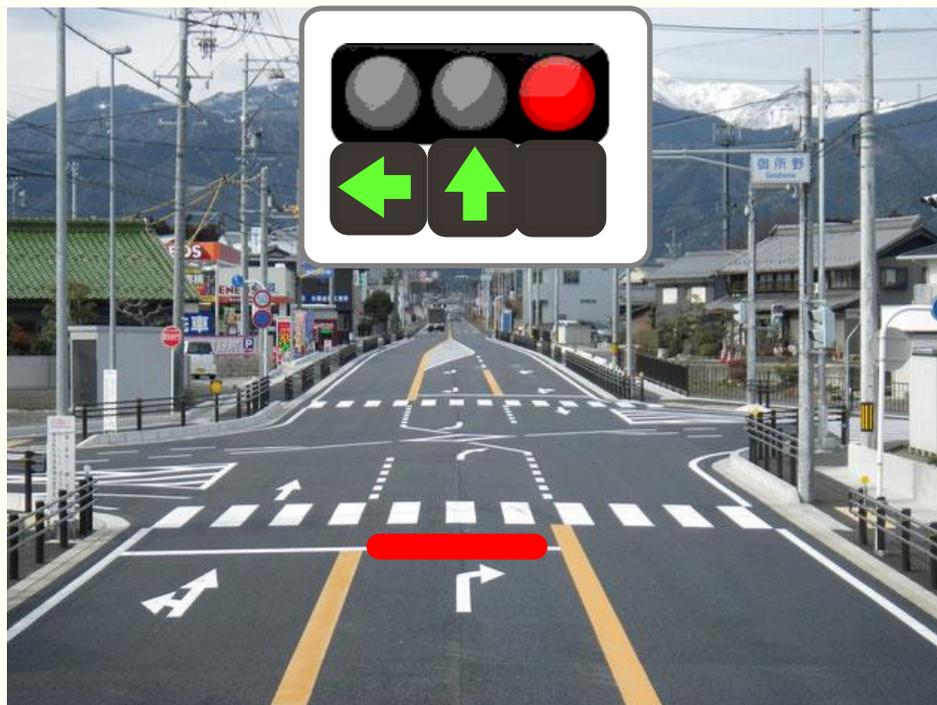
- ・ この様な状況を想定し「全ての信号が赤」（約3秒）という瞬間があります  
この瞬間を利用して行く。と考えます。
- ・ シビアなタイミングですが、C車に被せるイメージで行動しましょう  
被せる動作が遅れてしまうと「黄色車」や「歩行者」が動き始めてしまいます  
歩行者の動きに注意を払いながら進みましょう  
歩行者が「プチ」フライングをしてくるのは定番です

# 右折のタイミングを掴もう

Basic knowledge



# 矢印信号の対処



直進・左折  
はGo

右折は赤信号の扱い  
中央に出ずに  
停止線で止まる



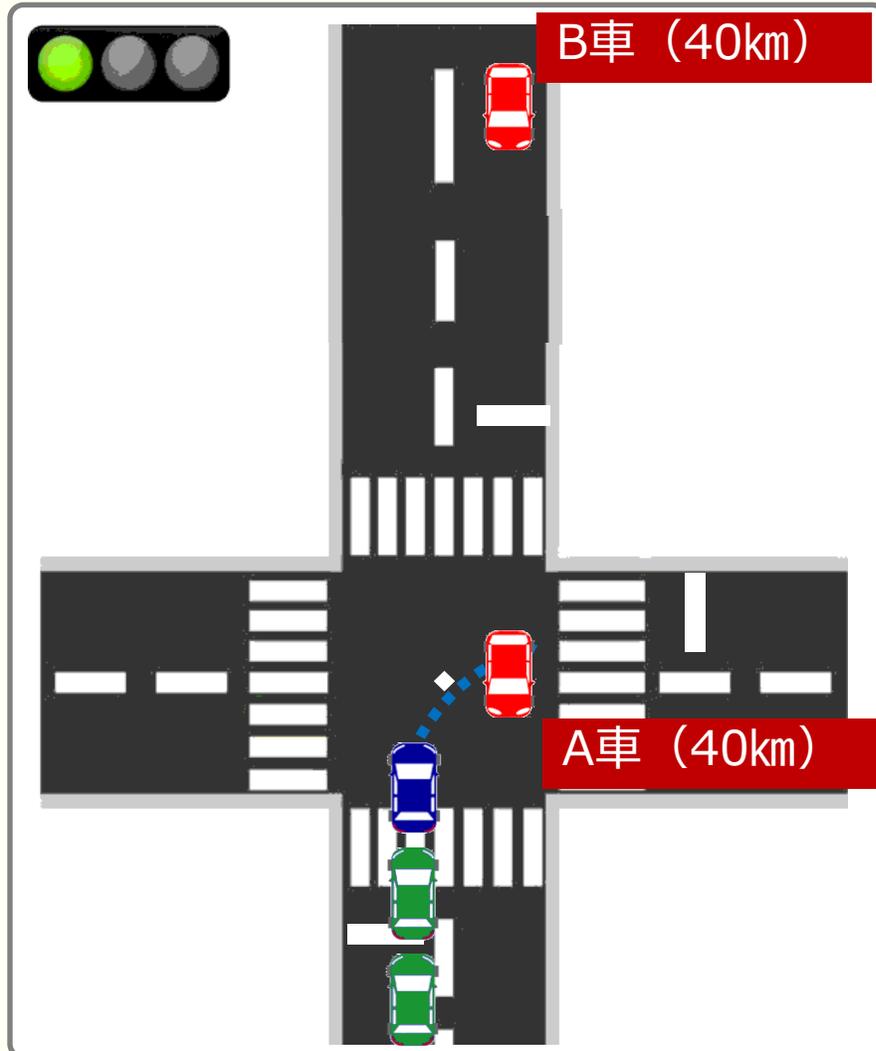
当然  
止まる

右折専用・速やかに行く  
信号無視だけ気を付ける

【POINT】  
対向車も歩行者も赤信号で止めてくれます

# 対向車との距離感・速度感

Basic  
knowledge



【問1】  
物理的に行けるタイミングですか？  
行けないタイミングですか？

【問2】  
自分だったら行きますか？  
それとも行きませんか？

【回答】  
物理的には行ける  
行っても行かなくても正解  
(自信がなければ行かなくてもよい)

【POINT】  
自分が安定速度で曲がれる  
相手にブレーキを踏ませない

# 対向車の動向を把握しよう

Basic  
knowledge



「対向車のウィンカー」も大切な情報です  
「対向車の進路」は「行くタイミング」に大きな影響を与えます

# 右折被りは安全に

Basic  
knowledge

「右折したい車」が被ってしまうと難しい状況になります

## 【対策】

- 少しずつ前に出て見える領域を増やしていく  
(右ハンドルを入れながら少しずつ進む)
- 絶対に無理に行かない
- 右矢印がある信号の場合は  
最終的には→で行けると考える



赤車の陰で  
見辛くなってしまう

